

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	団体ウェブサイトURL https://za-koenji.jp/
代表者職・氏名	理事長・牧野 望	
制作団体所在地	〒 166-0002 最寄り駅(バス停) JR高円寺駅 東京都杉並区高円寺北2-1-2	
電話番号	03-3223-7500	
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	団体ウェブサイトURL https://za-koenji.jp/
代表者職・氏名	理事長・牧野 望	
公演団体所在地	〒 166-0002 最寄り駅(バス停) JR高円寺駅 東京都杉並区高円寺北2-1-2	
制作団体 設立年月	平成17年 7月	
制作団体組織	役職員 理事長:牧野望(マキノノゾミ)/副理事長:鈴木聡、高宮水木/理事:桑谷哲男、坂手洋二、樽川健司、内藤一夫、糟谷一/幹事:長谷基弘、平山鉄郎	団体構成員及び加入条件等 主な構成員:永井愛、渡辺えり子、横内謙介 加入条件:理事長が別に定める入会申込書により、理事長宛に申し込むものとする。会員の入会については特に条件を定めない。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名 和泉将朗、石原直子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 千葉美香、世良由里子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	n.ishihara@theatre-koenji.jp	

<p style="text-align: center;">制作団体沿革</p>	<p>舞台芸術の専門家によるグループが、平成17年7月にNPO法人として正式に活動を開始。平成18年10月より杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」の指定管理者に選出。平成21年5月の座・高円寺の開館以来、地域に立脚したコミュニティシアターとして、文化芸術の発信とともに地域の生活文化にも目を向けたあたらしかたちの公共施設を目指し、以下の業務を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 座・高円寺の個性となる優れた舞台芸術鑑賞事業の創造と発信 2. 教育・啓発事業の継続推進 3. 区民の文化芸術活動・交流を支援 4. 地域の振興 まちづくり推進 5. 舞台芸術等に関する情報の発信と提供 6. 施設の管理、運営 7. 施設の維持、安全管理 8. 管理、運営業務にかかわる経費管理 <p>・子どもを対象とした演劇公演の企画制作や、幼児から参加できる絵本イベント、小中学生に向けたワークショップ、ゴールデンウィークや夏休みには親子で楽しめる工作ワークショップ等実施。</p> <p>・付設の演劇学校「劇場創造アカデミー」では、大学や各地域の公共劇場とネットワークを築き、舞台芸術のノウハウを文化・芸術の分野だけでなく、地域のコミュニティで生かしていくための人材を育成。</p> <p>・地域の4大祭りと称される「高円寺びっくり大道芸」「東京高円寺阿波おどり」「高円寺フェス」「高円寺演芸まつり」を応援協力し、地域の活性化事業を行っている。</p>		
<p style="text-align: center;">学校等における 公演実績</p>	<p>平成21年～令和5年9月の期間で、杉並区内外の演劇鑑賞教室を延べ711校で実施、80,000名以上が鑑賞。学校公演用に制作した舞台作品は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度児童福祉文化賞受賞作品『旅とあいつとお姫さま』 ・平成24年度児童福祉文化賞推薦作品『ピン・ボン』 ・平成25年度児童福祉文化賞推薦作品『ふたごの星』 ・平成30年度児童福祉文化賞推薦作品『ピノキオ』 ・平成30年度厚生労働省社会保障審議会推薦作品 <p>第7回食育活動表彰 教育関係者・事業者部門 <教育等関係者の部>消費・安全局長賞受賞 『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』 ・『小さな王子さま』※令和4年より上演</p> <p>座・高円寺公演の他、えずこホール、あさひサンライズホール、美深町文化ホール、桐蔭学園シンフォニーホール、茅野市民館、宮崎県立芸術劇場、目黒パーシモンホールにおける小中学生、親子劇場・子ども劇場の鑑賞会。</p> <p>平成24年から当該事業で『ピン・ボン』『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』巡回公演(令和5年度の予定も含め156校で上演)。令和5年度に『ピン・ボン』ユニバーサル公演事業(2校で上演予定)。</p> <p>学校公演以外では、文京シビックホール、久留米シティプラザ、新居浜あかがねミュージアム、高知県立美術館、伊丹アイホール、杜のホールはしもと、香港兆基創意書院(香港公演)等で上演。</p>		
<p style="text-align: center;">特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成24年度からの当該事業で『ピン・ボン』の上演及びワークショップの実績あり。</p> <p>特別支援学校は、17校(愛知県立安城養護学校、静岡県立浜名特別支援学校、静岡県立浜松聴覚特別支援学校、福島県立大笹生養護学校、福井県立南越特別支援学校、京都府立舞鶴支援学校北吸分校、京都府立八幡支援学校、茨城県立霞ヶ浦豊小学校、山口県立山口総合支援学校、広島県立呉特別支援学校、広島県立尾道特別支援学校、鹿児島県立鹿屋養護学校、大阪府立光陽支援学校※ワークショップのみ、富山県立にかわ総合支援学校、京都府立丹波支援学校、京都市立京都北支援学校、富山県立富山総合支援学校)、2,200人以上が鑑賞。</p> <p>当該事業以外では、平成27年に茨城県立下妻特別支援学校から直接依頼を受け『ピン・ボン』学校公演を実施。</p>		
<p style="text-align: center;">参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p style="text-align: center;">有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://vimeo.com/755556265/6e4724567</p> <p style="text-align: center;">5</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p style="text-align: center;">特になし</p>
		<p>PW:</p>	<p style="text-align: center;">特になし</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	座・高円寺レパトリー『ピン・ポン』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>『ピン・ポン』</p> <p>構成・演出●佐藤信…劇作家・演出家。1966年劇団「自由劇場」設立。68年に「演劇センター68」(現、劇団黒テント)を立ち上げ、以後、大型のテントを使った全国公演を20年間行う。世田谷パブリックシアター、座・高円寺等の芸術監督として多くの公共劇場の開館と運営に携わる。劇団「陽座」主宰。</p> <p>美術・演出●tupera tupera(亀山達矢、中川敦子)…絵本、イラスト、工作、ワークショップ、舞台美術、アニメーションなど、様々な分野で幅広く活動。著書に絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』『おノート』等多数。NHKEテレの工作番組『ノージーのひらめき工房』のアートディレクションも担当。</p> <p>振付・演出●竹屋啓子…舞踊家・振付家。ダンス01主宰。文化庁在外研修員としてNYに留学。マーサー・グラハムカンパニーのメンバーとなる。帰国後日本のモダンダンス界のリーダーとの一人として活躍。近年ではアジアの芸術家との共同制作などで活躍。</p> <p>音楽●磯田収(モダンチョキチョキズ ギタリスト) 照明プラン●横原由祐 音響プラン●島猛 衣裳●SUTOA</p> <p style="text-align: right;">公演時間 60 分</p>				
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況		
演目概要	<p>カラフルなピンポン玉と旅に出よう！生演奏やダンスでつづる、せりふのないお芝居です。</p> <p>【あらすじ】 ビーポーさんが迷い込んだのは、ピンポン玉が生きているふしぎな世界。そこで恥ずかしがり屋の男の子「ピン」と元気いっぱい女の子「ポン」に出会います。ピンとポン、そして物語を共に冒険するムチャクんとクチャクんと、遊びながら旅をして、やがてピンとポンには新しい家族も生まれ、たくさんのおもちゃと過ごしながら、宝物のような時はながれて…。ある朝、ビーポーさんが目を覚ますとそこはいつもの散歩道。でも、もうさみしくありません。心の中には沢山の思い出と、かけがえのない友達がいるからです。</p>				
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童でも理解しやすいシンプルな構成とストーリーで“友達の大切さ”や“生きる喜び”を伝えます。ピンポン玉、スプーン、ドライバー、傘など、身の周りにあるものが、まるで生きて見えるように見える、オブジェクト・シアターの手法で子どもたちの想像力をかきたてると同時に、演劇の楽しさを伝えます。 ・大きなホールで行える演目でありながら、限られたスペースでも上演出来る柔軟性を持っているので、本格的な演劇を体育館でも味わうことが出来ます。初めての観劇にも最適です。 				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・劇中でピンポン玉を出演者と一緒には操ります。1～50名の子どもたちに協力してもらい、透明なビニールホース内に玉を入れて、ドライバーで玉を移動させます。物語後半にはピンポン玉1つ1つから生命と個性を感じられるようになっているので、子供たちは愛情を持ってピンポン玉に接してくれます。 ・カーテンコールを全員で一緒に踊り、コール&レスポンスの音遊びをします。簡単な手話を伴った振付をその場で指導しますので、事前準備は不要です。 				
出演者	<p>ビーポーさん役 徳田美佳(とくだ・みか) ダンサー ムチャクン役 出崎洋樹(でさき・ひろき) 俳優 クチャクン役 鳥飼健太郎(とりかい・けんたろう) 俳優 ミュージシャン 磯田収(いそだ・おさむ) 計4名(予定)</p>				
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 4 名	運搬	積載量: 4 t		
	スタッフ: 8 名		車長: 9 m		
	合計: 12 名		台数: 1 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		0	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00~13:00	13:30~14:30	適宜	15:30~17:30	17:30

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	0日	9日	
	11月	12月	1月	計	69日	
	20日	20日	20日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	1~50名以上可能(応相談)
		鑑賞人数目安	350名程度まで(会場条件により変動)

上演に必要なエリアは【横7m×縦6.2m】です。
床に転がるピンポン玉が見えるように座ってほしいので、前列は着座、後列へ行くほど椅子やベンチに座り、段差のある客席を用意します。
鑑賞エリアは、体育館の大きさと鑑賞人数に応じて設定させていただきます。



ステージ上に舞台を設置する場合(観客数120名以上推奨)
持込の台で舞台面を2m拡張して行います。

フロアに舞台を設置する場合(観客数120名以内推奨)

公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)



演劇、人形劇、パントマイム、スキット、マジック、ダンス、音楽といった多ジャンルのパフォーマンスを、約60分の上演で余すところなく楽しめます。

多彩な照明と音響の効果により、体育館がまるで劇場のような夢の空間になります。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



演奏で使用する楽器は、ギター、パーカッション、テルミン、カリンバ等。他に栓抜き音やチャイム音などの生活音も生の音として使います。



子供たちををお芝居に誘う場面があります。(ステージには上りません)
小道具を操って、ピンポン玉を動かしてもらいます。その場で1~50名を選びますので、事前準備等は必要ありません。

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	70名程度まで(45～50分毎に入替可)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>講師： 出演者(ミュージシャン、ダンサー、俳優)4名 スタッフ(照明、音響、タイムキーブ担当)2名</p> <p>①自己紹介&作品紹介 ・演劇は出演者以外にもたくさんの専門スタッフがいて、1つの作品に様々な人が関わっていることを伝えます。</p> <p>②ウォーミングアップ ・ダンサーが主体となり、子どもたちの身体と気持ちを解放していきます。 ・はじめは指先の小さな動きから、徐々に身体の動きを大きくしていきます。</p> <p>③チームに分かれて短い演劇作りに挑戦 ・本公演で鑑賞する「ピン・ポン」の冒頭部分をチーム毎に考えて、表現してもらいます。 ・セリフのない演劇なので声は出しません。代わりに講師が1人1人の動きを解説します。 ・発表の際、ミュージシャンが持込のギターで、チームに合ったオリジナルの曲を演奏します。</p> <p>⑤本公演のラストで踊るダンス練習 ・手話を取り入れたダンスなので、意味を伝えながら振りを覚えてもらいます。 ・最期はミュージシャンの演奏に合わせて全員で踊ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で表現を創ることで、達成感を味いつつも、表現に正解はないので人に伝えるのは難しいということを子どもたちに学んでもらいます。出演者は観客が納得するものを見せるために、日々稽古をして技を磨いていることを知ってもらい、本公演への期待と関心に繋がります。また、子どもたちは出演者と共同作業をすることで、演劇を身近に感じてもらいます。 ・プロのミュージシャンによる演奏を身近に聴いてもらい、演劇表現における音楽の重要性を知ってもらいます。音によって変わる印象を楽しみながら感じてもらいます。 ・本公演の児童参加場面で行うダンスの振付では手話が多用されています。音楽に合わせて自然に手話が覚えられます。ワークショップに参加子どもたちには本公演時に率先して踊ってもらい、盛り上げてもらいます。 		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校、支援級に通う子どもたちも参加が可能です。 ・ご要望に合わせて内容の調整は可能です。事前のヒアリングで普段の子どもたちの様子を伺い、状況に合ったワークショップを提案させていただきます。 ・ワークショップの前後に交流給食や交流清掃を行うことも可能です。質疑応答を含めた様々な交流を通して、本公演ではより作品を身近に感じてもらうことが出来ます。 		

本事業への申請理由

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進する目的に賛同し、『ピン・ポン』の申請を行います。</p> <p>本作品は、平成24年度児童福祉文化賞推薦作品に選ばれており、児童演劇や児童教育の専門家からも高い評価を得ています。</p> <p>日常から迷い込む不思議な世界への冒険は、子供たちが憧れる夢の時間です。ピンポン玉が生きているように見えるその世界で、子供たちは「家族の温かさ」や「友だちの大切さ」や「生きる喜び」を感じることでしょ。この作品を鑑賞した子供たちが舞台芸術に興味を持ち、将来は心豊かな芸術鑑賞者として、また、舞台の上だけでなく日常生活の中における表現者として、一歩を踏み出せるきっかけを作ります。</p> <p>NHK番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションや教科書の表紙イラスト、そして絵本「パンダ銭湯」「しろくまのパンツ」でもお馴染みの人気絵本作家tupera tupera(ツペラ・ツペラ)が演出と舞台美術を手掛けており、たくさんのピンポン玉を使ってファンタジックに描く「立体絵本」のような構成が、子どもたちの想像力をかきたてます。</p> <p>事前のワークショップでは出演者と子供たちのコミュニケーションを重視しています。子供たちは出演者と共同作業としての演劇を体験することで、本公演では集中力の高い鑑賞となるよう働きかけます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 団体の事務所と学校現場のそれぞれに制作担当を配置し、連絡がスムーズに取れるよう、運営体制を整えております。学校に合わせてワークショップと公演の手引きを作成し、ご担当の先生と密に連絡を取りながら、不安な点、疑問点などを解消して実施します。本公演時は学校巡回公演の経験が豊富な技術スタッフが同行し、安全で質の高い公演を行える体制をとりま 2. 実施日程や開始時間は学校側の意向に沿えるよう調整いたします。 3. 本公演鑑賞時に子供たちの集中力を高めるため、見やすい客席の配置を行います。会場の換気状況、災害時の避難動線などを先生方と相談して決定します。 4. 計測した体育館の平面図と、電源回路図のデータは実施校にお送りします。今後体育館で大掛かりな公演を行う際にご利用頂きます。 5. ご希望があればワークショップ時に子供たちと一緒に給食をとって交流します。他に交流清掃や、出演者との集合写真撮影なども可能です。 6. 公演終了時に感想発表や質疑応答タイムを設けます。ご希望があればバックステージアームも可能です。 7. 子供たちから届いた感想の手紙のなかに質問があれば、出演者が直筆で回答のお手紙を書かせていただきます。
--	--